

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>乳がん組織における悪性度規定因子の探索研究</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野・中西陽子</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>機関の長の初回許可日 ～ 令和 12 （西暦 2030 ）年 3 月 31 日</p>
<p>＜対象となる方＞</p> <p>2015 年 1 月 1 日 ～2025 年 12 月 31 日に日本大学医学部附属板橋病院において病理診断で原発性乳がんと診断され、手術または生検を行った方</p>
<p>＜研究の目的＞</p> <p>AYA 世代と言われる若い年代や、男性にできる比較的患者数の少ない乳がんの悪性度に関係する因子を明らかにして、診断や治療に応用できるようにすることを目的としています。</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>手術や生検で摘出したがん組織から病理診断のための標本が作製されます。病理診断が確定した後に余っている病理組織を用いて、遺伝子発現の違いや遺伝子発現を調節する因子、タンパク質の発現状態などを総合的に解析します。</p>
<p>＜研究に用いる試料・情報の項目＞</p> <p>研究に用いる試料は、手術で摘出したがん組織から作製された病理診断のための標本で、診断確定後に余っている標本を用います。このため、通常の診療を妨げることはありません。研究に用いる情報は、乳がんの大きさや転移の有無などの病理学的評価項目と治療方法やその後の経過などで、個人情報に関する情報は一切使用いたしません。</p>
<p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野・中西陽子 03-3972-8111 内線 2256</p>

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方